令和８年度　愛教研栄養教員部リーダー研修会報告

1　趣　　旨　　栄養教諭・学校栄養職員が専門職としての資質の向上に努めるとともに、支部間の連携を強化し、支部活動の更なる活性化を図る。

2　主　　催　　愛媛県教育研究協議会

3　参 加 者　　31 名（栄養教員部部長・副部長・正副支部部長）

4　期　　日　　令和８年７月 23 日（木）

5　会　　場　　エスポワール愛媛文教会館　４階会議室　寿
〒790-8545　松山市祝谷町１丁目５－33　　TEL（089）946-2772

6　研修内容

(1)　指導講話　　愛媛県教育研究協議会　専門局長　近藤　民好

(2)　講　　演
演題　「学校における教育活動と著作権」
講師　東京学芸大学学校図書館運営専門委員会
著作権アドバイザー　原口　直　先生



(3)　指導講話　　「これからの食育推進」
講師　愛媛県教育委員会保健体育課
指導主事　折井　智栄　先生

(4)　情報交換

○　講演では、著作権アドバイザー　原口直先生より、「学校における教育活動と著作権」と題し、学校現場での事例をもとに、問題となったポイントや法律、著作物の正しい活用方法について教えていただいた。実際に「無料」「フリー」とイラストを提供しているホームページのサイトの利用規約「無償の範囲」を正しく読み取る方法を確認した。今後も、著作物に関わる情報を確認し、自身が作成する際に気を付けていきたい。参加者からは「規約を読めば安心してイラストを使用できると分かり、これから指導資料を作成する際の幅が広がった。」「著作権についてわかりやすく学ぶことができた。お便りや指導の時に気を付けたい内容ばかりで、さらに勉強していかないといけないと感じた。」などの感想が寄せられた。

○　指導講話では、折井智栄指導主事より、「これからの食育」と題し、学校での食育の重要性や次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方についてご指導いただいた。次期学習指導要領では、「実装」とキーワードが挙げられている。知識を関連付けたり、根拠を持って考え、実生活に結びつけ、ねらいを見極める必要がある。また「多様性の包摂」は、社会の多様化や個々の子どもたちの特徴をとられ、個に応じた教育を行う必要があることを学んだ。現代の社会環境の変化に伴う多様な子供たちの「深い学び」を確かなものにするために、個に応じた指導がさらに必要になる。生涯にわたり子供たちが主体的に学び続け、選択し実践できるよう組織として指導にあたることが重要でることを再確認できた。

○　情報交換では、「物価高騰による献立作成の工夫等について」をテーマに、支部の枠組みを超えた情報共有や意見交換をすることができ大変有意義な時間となった。

○　今回の研修内容を各支部の会員と共有し、栄養教諭等として研鑽に励みたい。